

軽トラック用 幕セット

幌セット KH-6

～ 三面巻上扉幕式 ～

保存【2506】

組立説明書



NAN-A CORPORATION
製造元

南榮工業株式会社

南榮工業公式HP
南榮工業YouTube
南榮工業公式HP
南榮工業YouTube

南榮工業YouTube
南榮工業YouTube
南榮工業公式HP
南榮工業YouTube



軽トラック用
幌セット

KH-6 組立部材表

保存

【2506】

【注意事項】 幌セット： 間口1.37m 奥行1.92m 高さ1.3～1.38m

※組立作業を行う前にダンボールケース内の部材確認をお願いします。

※ジョイントは取り付け方向がありますので、組立説明書をよくお読みください。

※『安全上の注意』を良くお読みになり安全に作業をしてください。

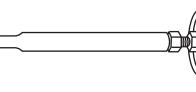
※軽トラックに幌を取り付けての高速走行等(高速道路、有料道路)は、

製品破損・事故誘発の原因になり危険ですのでお止めください。

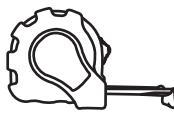
※幌シートの取り付け不備、劣化等により、雨漏りのおそれがあります。

△ 電気製品、寝具、その他の再生不能な物の運搬は避けてください。

※軽トラックゴムマットは別売りです。

No.	品名	規格	数量	形 状	No.	品名	規 格	数 量	形 状
①	アーチ用 パイプ	25×167LL mm cm	5		⑤	T型 ジョイント	T08	5	
②	脚用 パイプ	25×113S mm cm (アジャスター付)	6		⑥	十字 ジョイント	X04	2	
③	横通し用 パイプ	25×93.5 mm cm	8		⑦	キャップ	25用	12	
ジョイント各種									
④	L型 ジョイント	L05	2		⑧	絞りクリップ		2	
	L型 ジョイント	L06	2		⑨	固定用 ロープ	4.5×1 mm m	6	
⑤	T型 ジョイント	T07	5		⑩	幌天幕		1	
					⑪	ゴムバンド	60 cm	20	

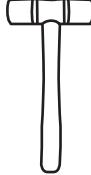
準備する工具



スケール
(寸法計測用)



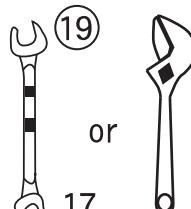
マジック
(パイプ印用)



ハンマー
(部品取付用)



プラスドライバー
(部品取付用)



スパナ
(部品取付用)
or
モンキースパナ
(部品取付用)

○印の方を使用する

※本製品のジョイントのネジの締め込みはプラスドライバー等を用いた

手動の組み立てを前提に準備しています。

電動工具をご利用の際は、テンションをかけすぎますと部品破損の
恐れがありますので、ご注意ください。

替幌シートのお求めは、本製品をお求め頂きました
販売店様に、お問合せいただけます。



製造発売元 南栄工業株式会社
〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025
TEL 0986-38-0111

安全上のご注意

この商品を安全に正しく使用して頂く為に、組立られる前、また使用される前にこの『安全上のご注意』を良くお読みの上、十分に理解して頂き正しくご使用ください。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示の意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをした時、人が死亡または、重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをした時、人が重傷を負ったり物的損害の発生が、想定される内容を示します。



警告

- ◇使用前には、フレームとシートの点検を必ず行ってください。（フレームの変形、シートの破れキズ、各部品のネジ・ボルトの緩み等）
- ◇フレームが破損した場合は、非常に危険ですので使用を中止して、当製品をお買い上げになった販売店にて、交換部材等をお買い求めになり、正しく取付けられた後、安全を確認してから使用してください。
- ◇走行中の外れ等、万が一の危険を想定して荷台への固定等は確実にしっかり行ってください。
- ◇風対策としてのフレームと荷台の固定を別途行って頂きます様お勧めします。
- ◇強風・あるいは降雪が予想される時は、使用を中止してフレームとシートを取り外して別途保管してください。
- ◇フレームの上に載ったり、過重がかかるような使用は絶対に行わないでください。



注意

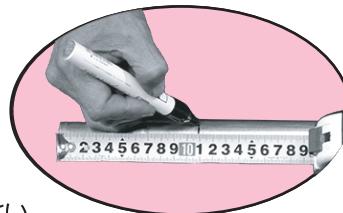
- ◇フレームに物を掛けたり、ぶらさがらないでください。
(特に子供さんには十分注意をしてください。)
- ◇軽トラック幌本来の機能(荷台への雨・風・日光よけ)以外で使用しないでください。
- ◆組み立て・シート取付け等の作業には十分に安全を確認してください。
- ◆**時速80km以上(高速道路)の走行は危険ですので止めてください。**
- ◇ ゴムバンド取扱い上の注意
 1. ゴムの中に含まれている油分の浸透により、色移りする場合がありますので、使用時には養生等を行なってください。
 2. ゴムバンドを使用する際は、跳ね返りやゴムが切れる場合があり危険ですので、引張る直線上に人がいないように注意して使用ください。
 3. ゴム表面にひび割れやキズ等が発生した場合は、使用を避けてください。
 4. 高温の場合での使用は避けてください。
 5. 伸張力を最大に伸ばして使用の場合、風圧等で切れる場合がありますのでよく確認をしてから使用してください。

この組立説明書及び『安全上のご注意』は、事故防止と部品交換時の為に大切に保管してください。

1 脚用パイプを準備します

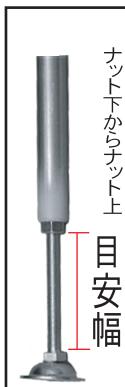
- ②脚用パイプ 6 本に、各ジョイント(⑤⑥)を取り付けるための、**目印線**をつけておきます。(後で取り付けます。)

※オス(先が細くなっている方)の先から、**11 cm**を計り、マジック等で印を付けてください。



- ②脚用パイプ 6 本の、高さを調整します。

※軽トラのキャビンの高さ(キャビン後部、鳥居部)は、各メーカーにより違いがあるためです。



脚高さ調整アジャスターの**目安幅**



ダイハツ ハイゼット
約3.5cm



ホンダ アクティ
約0cm



スバル サンバー[※]
約3.5cm



スズキ キャリイ
約3cm



日産 クリッパー[※]
約3cm



三菱 ミニキャブ
約4.5cm



マツダ スクラム
約3cm



トヨタ ピクサス
約3.5cm

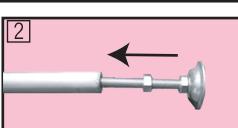
目安幅ですので、各車に応じて、設置後の最終調整が必要です。

※ 2014年12月新車販売比較

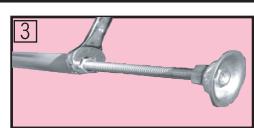
引き出
手順



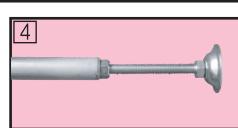
ドライバーなどで回すと
アジャスターが引き出ます。



ナットを移動させます。



目安幅を計り、ナットを
仮締め(固定)します。



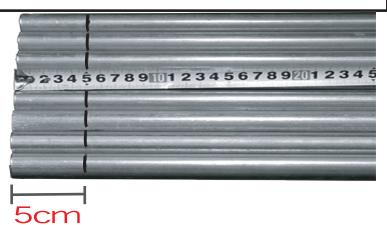
アジャスター調整完了。
(仮調整です)



2 脚部を組み立てます

- ③横通し用パイプ 8 本に、各ジョイント(④⑤) 取り付け用の**目印線**をつけます。

※ 片側に、パイプ先から、**5cm**を計り、マジック等で印を付けてください。



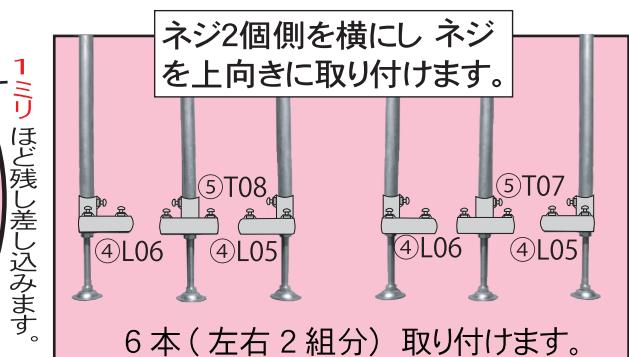
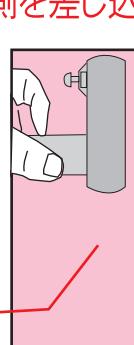
- ②脚用パイプ(調整済み)に、④L型ジョイント(L05 L06) ⑤T型ジョイント(T07 T08)を取り付けます。

※ 各ジョイントは、ネジが1個側を差し込みます。

※各ジョイントを
②脚用パイプ(調整済み)
に差し込んでいきます。

ジョイントの位置決め後
ネジを締込み、固定します。

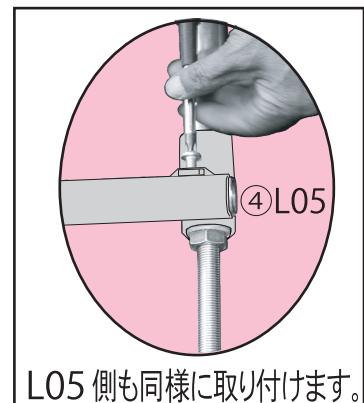
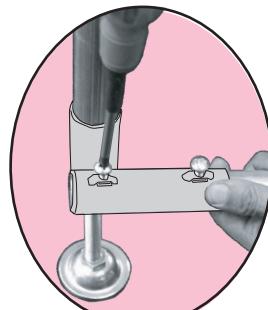
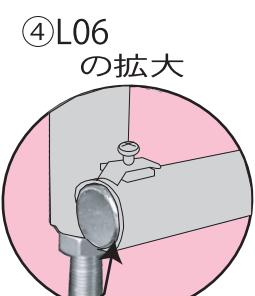
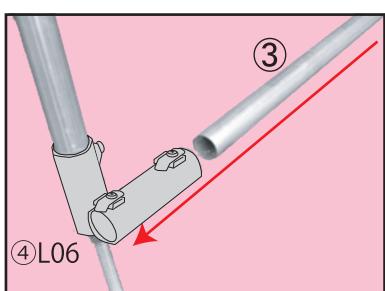
脚用パイプのオス
(先が細くなっている方から)
差し込みます。



6 本(左右 2 組分) 取り付けます。

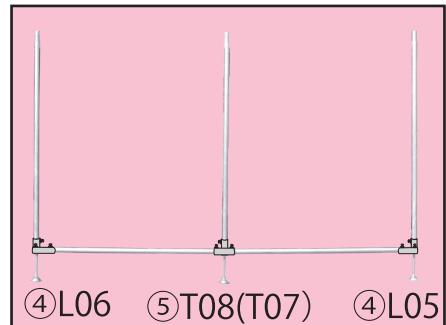
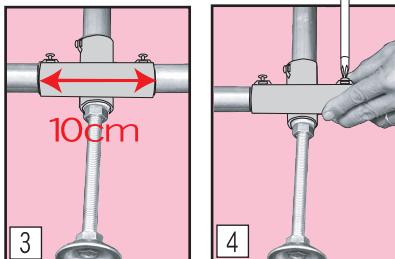
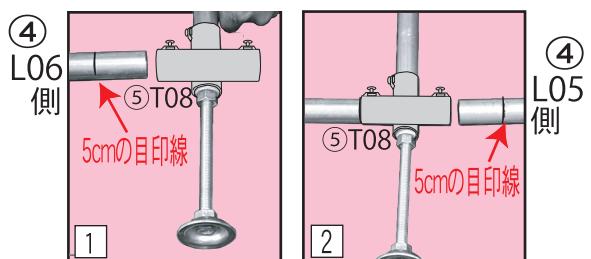
● ③横通し用パイプ 2本を取り付けます(2組)。

※ 両側の④L型ジョイント(L05 L06)への取り付けます。



③横通し用パイプは、5cmの目印線が無い方を差し込みます。1 mmほど出します。ネジを締め込み固定します。

※ 中央の⑤T型ジョイント(T07 T08)へ取り付けます。



③横通し用パイプは、L06側 L05側 それぞれ5cmの目印線がある方を差し込み、線に合わせます。

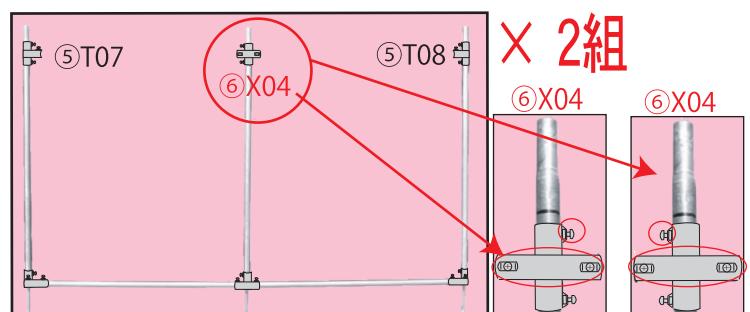
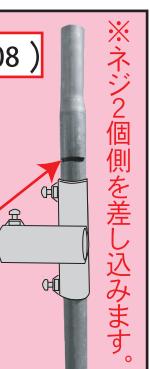
ネジを締め込み固定します。

3 アーチ用パイプを取り付けます その1

- 2で組み立てた脚部に、
⑤T型ジョイント(T07 T08)、
⑥十字ジョイントを取り付けます。

※⑥十字ジョイントは、向きを入れ替え、この脚部を2組作ります。

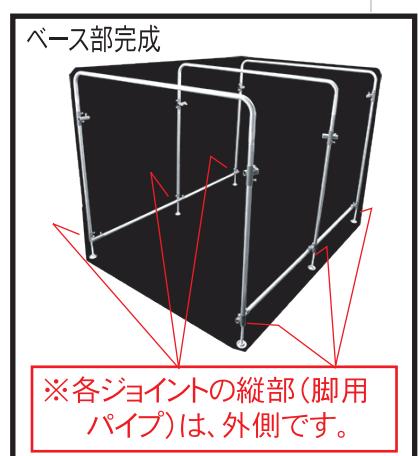
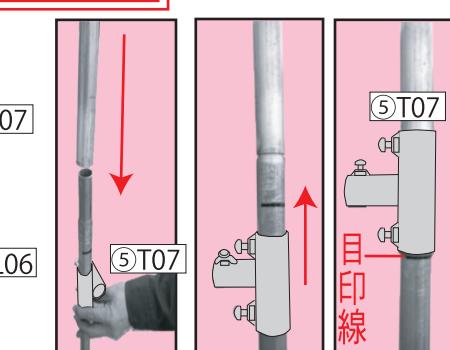
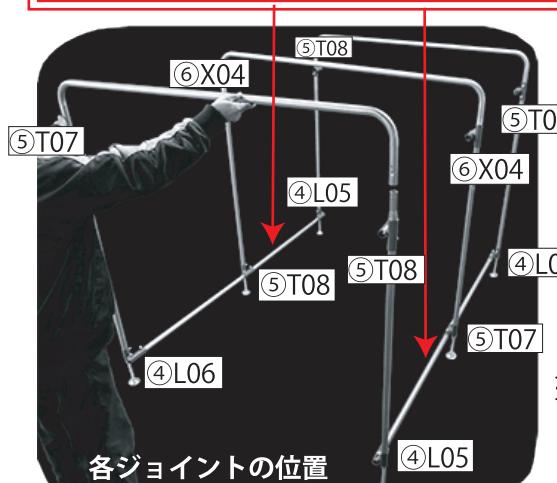
※ 1で付けた目印線より下の位置で、各ジョイントを仮止めしてください。



※ ⑥十字ジョイントの向きを入れ替える際、ネジの方向に注意してください。

- 脚部に、①アーチ用パイプ 3本、取り付けます。

※ 横通し用パイプは 内側になります。

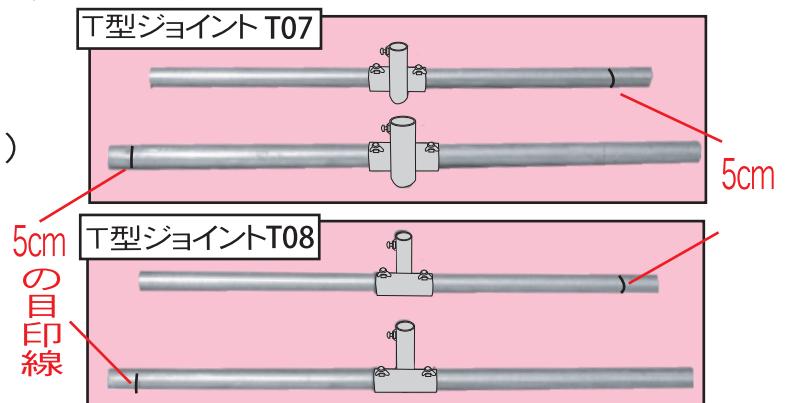


※ ①アーチ用パイプを、②脚用パイプにしっかりと取り付け、各ジョイント(⑤T07 ⑥X04 ⑤T08)の下部を、目印線に合わせ、ネジを締め込み、仮止めしてください。

4 上部横通し用パイプを取り付けます

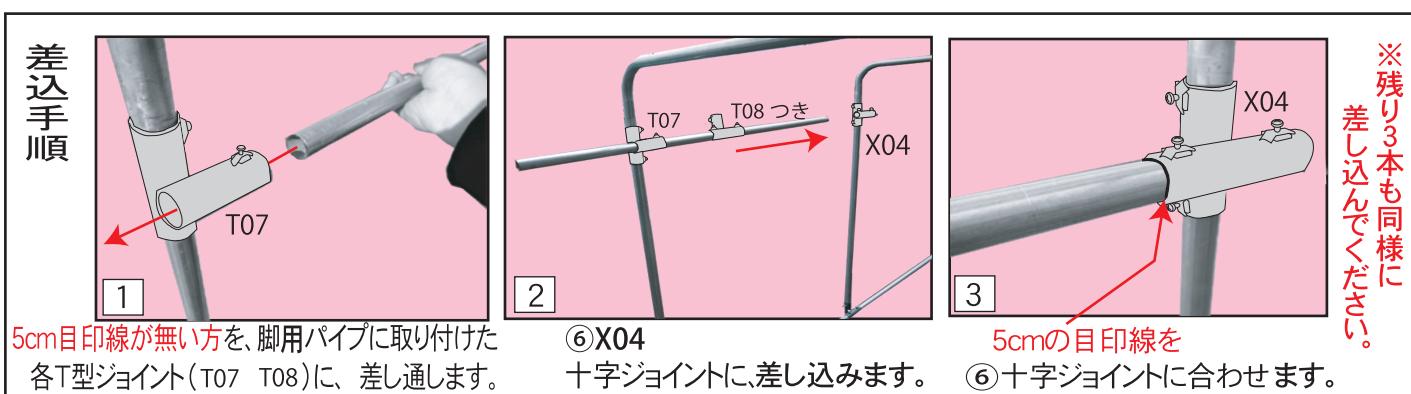
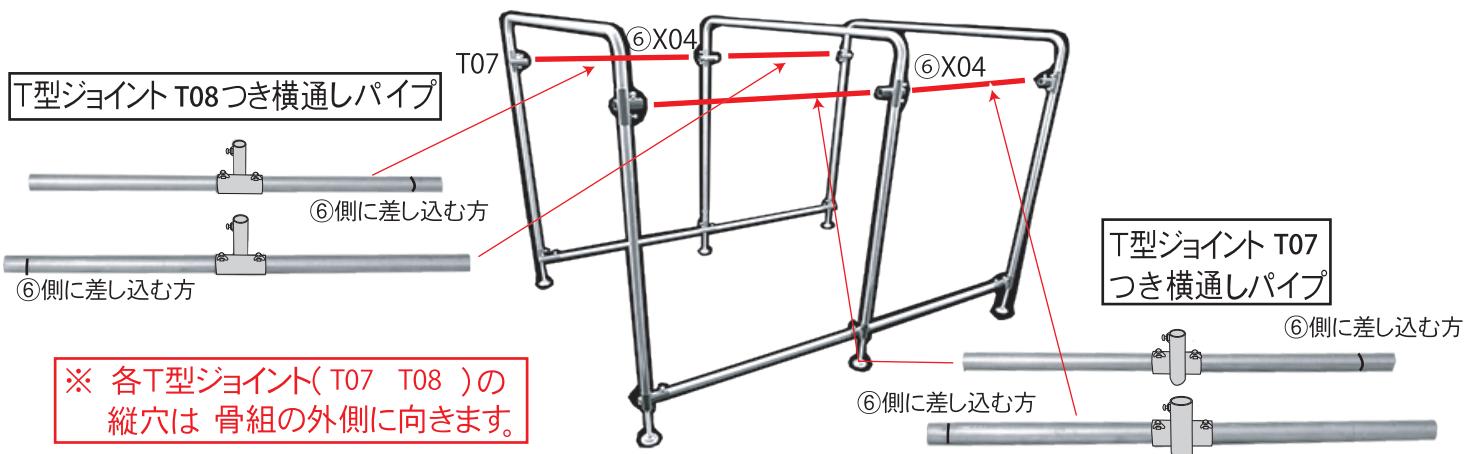
● ③横通し用パイプ 4本に、⑤T型ジョイント(T07 T08)を差し込みます。

※ ③横通し用パイプを、**2**で付けた
5cmの印線がある方を左右に
置き(2組)、各⑤T型ジョイント(T07 T08)
を、通します。ネジの締め込みは、
5 アーチパイプ取り付け その2
で行います。



● **3** で組み立てた骨組に、ジョイントつき横通し用パイプを取り付けます。

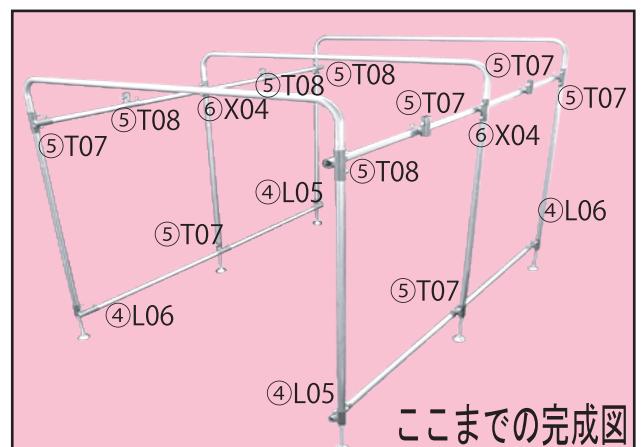
※ 骨組に取り付けられた、前後の⑤T型ジョイント(T07 T08)に横通し用パイプを通し、
5cmの目印線がある方を、⑥X04 十字ジョイントに合わせ取り付けます。



※ 各ボルトを締め込み固定します。



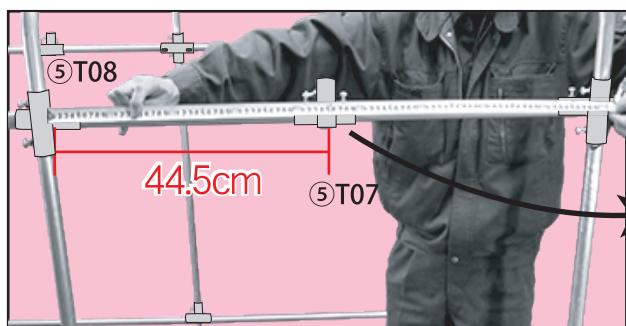
縦方面、横方面の
ネジを締め込みます。



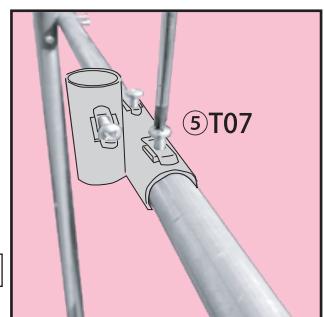
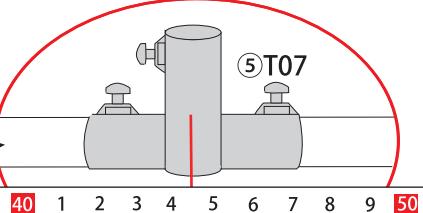
5 アーチ用パイプを取り付けます その2

● 残りの、①アーチ用パイプ 2本を取り付けます。

※ 中間の⑤T型ジョイント(⑤T07 ⑤T08) 4箇所の位置を決めます。



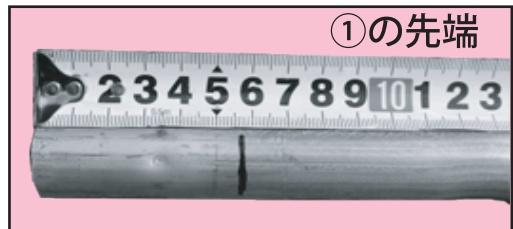
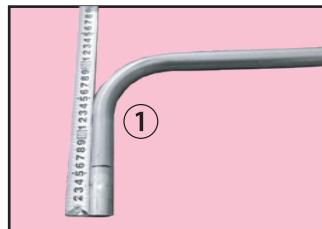
⑤T型ジョイントの拡大図。



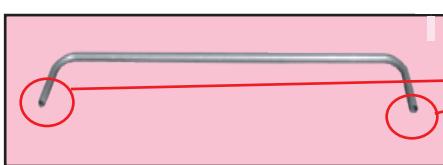
⑥ 十字ジョイントの縦差込パイプの内側から、
44.5cm 計り、そこが中心になります。

位置が決まった各⑤T型ジョイントのネジを
軽く締め込み、仮固定します。

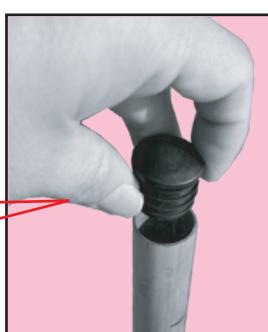
※ ①アーチ用パイプの差込部に、
5.7cmの目印線を付けます。
(左右差込部 ×2本)



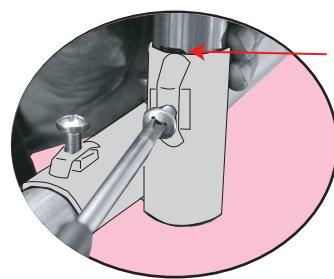
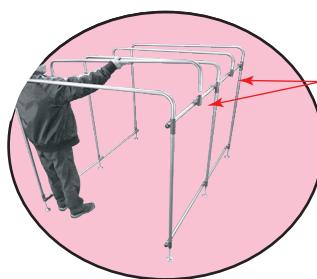
※ ①アーチ用パイプの差込部
に⑦キャップを取り付けます。
(左右両サイド ×2本)



(左右差込部 ×2本)

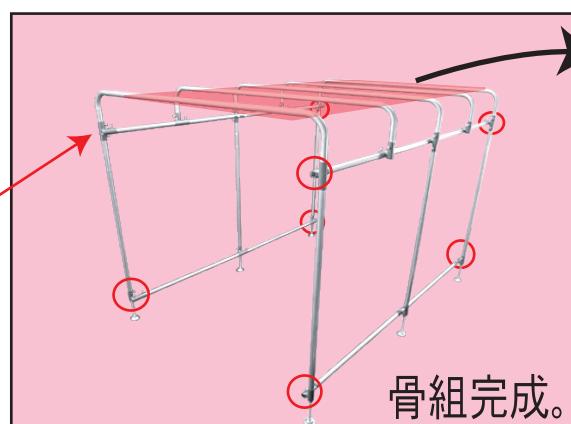
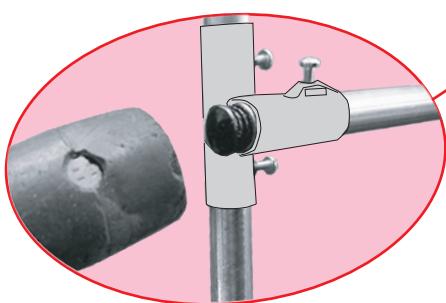


※ キャップが付いたアーチ用パイプを差し込み、5.7cmの目印線に合わせ、固定します。



アーチ用パイプ差込後、
横通し取り付けネジを
締め込んでください。

※ ⑦キャップを、8箇所、
取り付けます。



5本のアーチパイプは、
同じ高さになります。

骨組完成後、左右
平行確認をし、再
度、各ジョイントの
ネジの締め込みを
してください。

6 骨組に幌天幕を被せます

幌画像がKH-5の幌になりますが、共通作業になります。

- ※ ⑩幌天幕を、袋から取り出し広げます。
この時、幌(後ろ部)のファスナーを、
すべて、開けておきます。



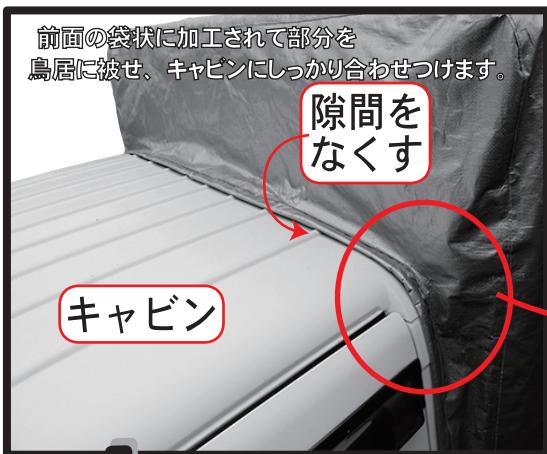
- ※ ⑩幌天幕を、骨組に被せます。※ 小窓がある方が、
(骨組に前後はありません。)幌の後部になります。

- ※ 天幕を広げる際、地面を引きずり、傷つけないよう、注意してください。
ファスナーの開閉は、必ず、持ち手(ス拉斯)を使用してください。

7 幌セットを、軽トラックに取り付けます

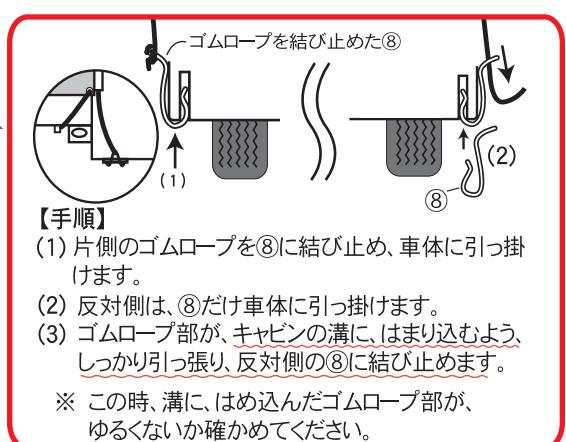
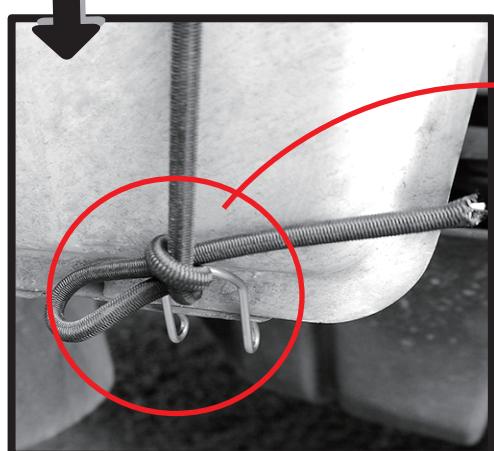
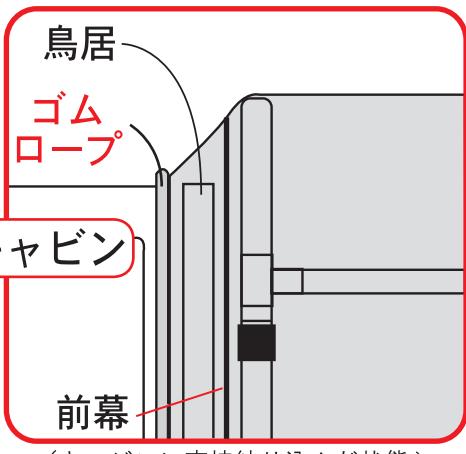
*幌画像が、KH-5の幌になりますが、手順は同じになりますので、ご了承ください。

- 幌セットを、荷台に乗せます。



前幕カブリ部を
キャビンに出来る
だけ隙間が出来ない
ように、キャビンの
溝に合わせます。

(車種により溝の
形状が異なります)



※ カブリ部に隙間ができたり、被りすぎた場合は、脚用パイプにあるアジャスターで、上下調整してください。

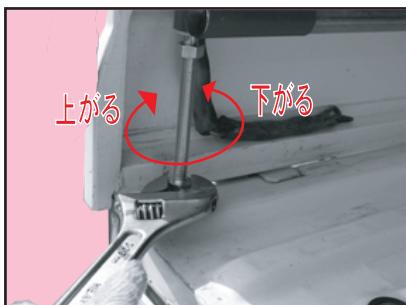
● 幕の高さ調整。

- ※ 脚アジャスター(6本)を最終調整します。各車の、一本一本の設置状況に応じて、高さの微調整を行ってください。



脚アジャスター6箇所

各メーカー、年代により、荷台の形状等に違いがあります。現車の状況に合わせ、一本づつの調整を、オススメします。



高さ調整は、
アジャスター下ナットです。
右回しで、
幌セットが上がります。
左回しで、
幌セットが下がります。



アジャスター上ナットは、
固定用になります。
高さ調整の際は、
緩めて作業してください。

※ 脚アジャスターの調整後は、上ナットを締め込み、しっかり固定してください。



8 幌セットを、軽トラックに固定します

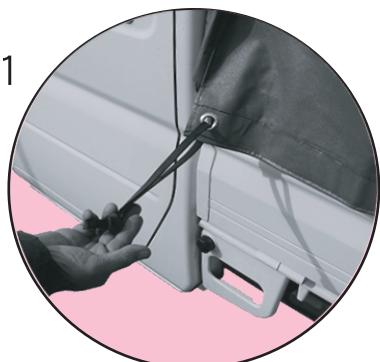
- ⑨固定用ロープで、幌セットの骨組を固定します(脚用パイプ 6本)。



各脚用パイプ 6本をしっかり、固定してください。

● ゴムバンドの取り付け方。

※ ⑪ゴムバンドを、幌幕のハトメ穴に通し、輪を作ります。



⑪ゴムバンドを、ハトメ穴に通し、結び付けます。



結びつけた⑪ゴムバンドを回します。



結び目が、ハトメの下に隠れます。
⑪ゴムバンドが、引っ掛けやすくなります。

※ ハトメ穴すべてに、

⑪ゴムバンドを取り付けます。

※ 幌幕両側面の⑪ゴムバンドを、荷台フックに

引っ掛け、固定します。



後幕は、内部の取り付け作業を行いますので、空けたままで結構です。

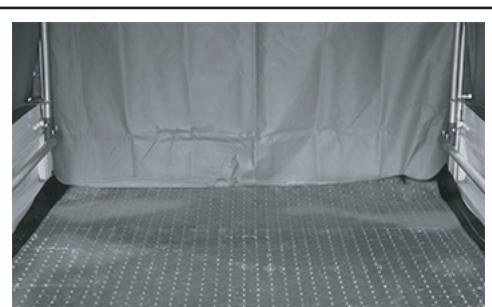
幌画像がKH-5の幌になりますが、共通作業になります。

● 幌内部(幕内部に付いている紐)を、骨組に取り付けます。



● 軽トラック用ゴムマットで固定します。

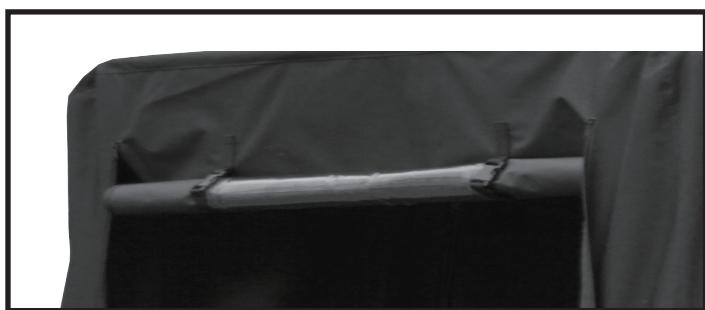
(軽トラック用ゴムマット(別売り)は、個別にご用意ください。)



※ 前幕の荷台に垂らした部分に、ゴムマットを被せます。

※ 前方から入ってくる雨水を、ゴムマットと荷台の間に流し込み幌内部を濡らしにくくする効果があります。

軽トラ幌セット KH-6



後幕の開閉部を巻き上げて 留めています



横幕の開閉部を巻き上げて 留めています



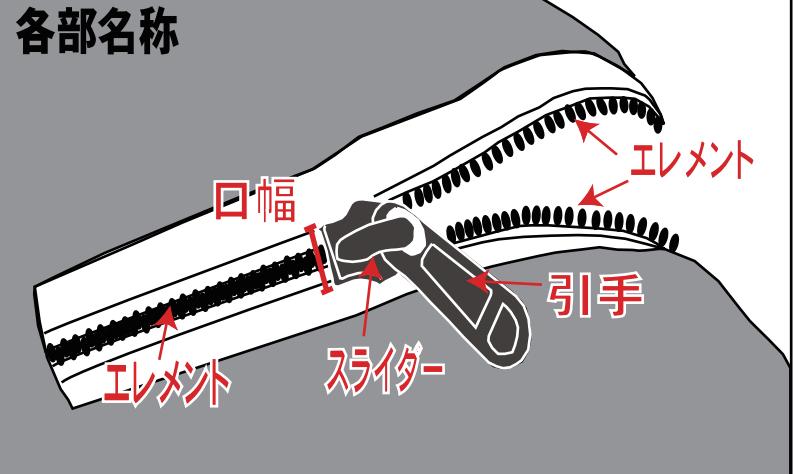
キャビン後部の鳥居に
被せます。



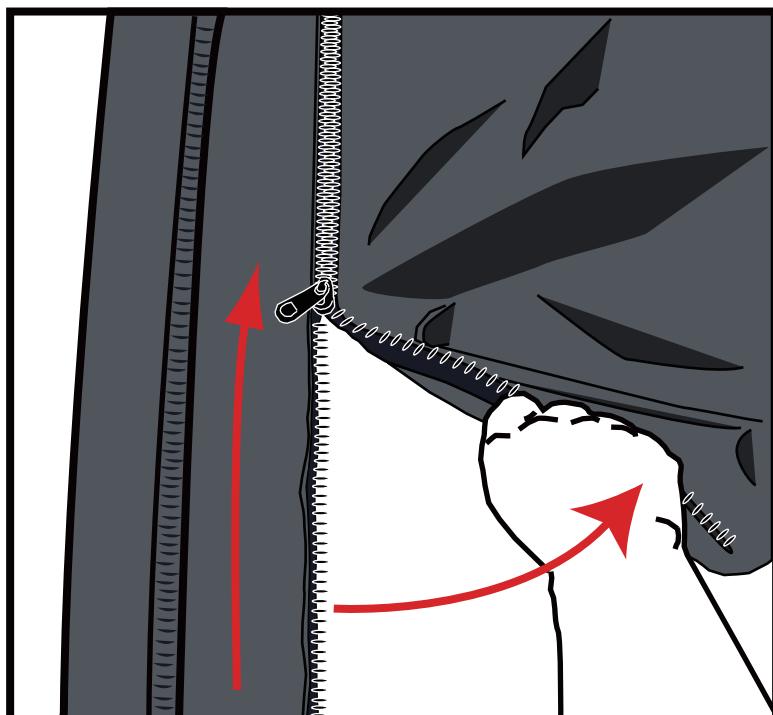
- ※ 高速走行(高速道路等)は危険ですので、お止めください。
- ※ 走行する際は幌天幕をしっかりゴムバンドで固定してください。幌天幕のバタつきは、シートの消耗の原因になります。また、走行中に、幌天幕が外れる恐れがあり、大変危険です。
- ※ 定期的に各箇所の、ボルト、ナット、ネジ等の緩みがないか、確認してください。

ファスナーの取扱いに

ファスナーの開閉につきましては必ず、引手を持ってスライダーを動かし行ってください。



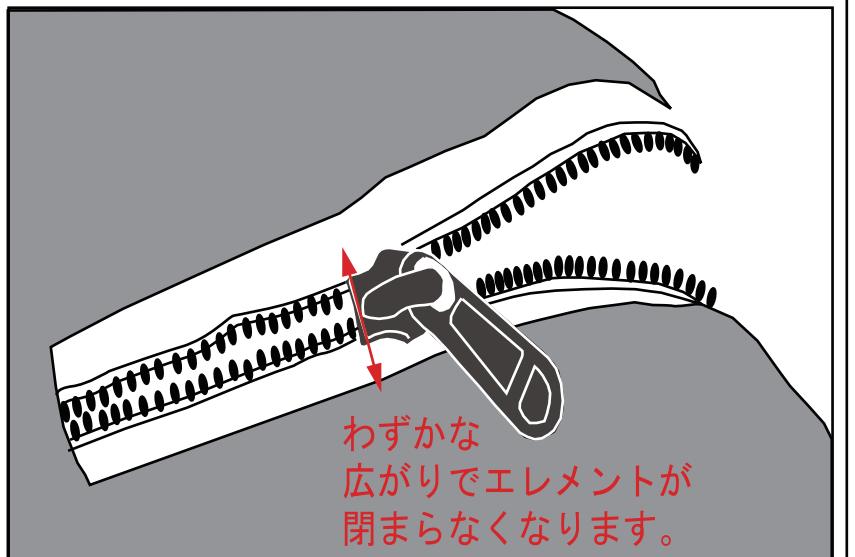
ファスナー開閉でおこなってはいけない行為



幕生地を持ち、引っ張るように広げて、ファスナーを移動する行為は、スライダー部に大きな負担をあたえます。

スライダーは金属部品がありますが、スライダー横部分に大きな負担がかかり、結果、口幅が広がっていきます。また、分解のおそれもあります。

スライダーの口幅が広くなってしまい、スライダーによる左右エレメントの押さえが効かなくなります。エレメントがかみ合わなくなり、ファスナーが閉まりきらない状態です。



※ファスナー周辺の、小さいゴミ、泥等の付着はお気をつけください。

※金属スライダー部は、定期的な油さしをオススメします。